

第54回(2009年)

問22 放射線の確定的影響に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 線量が増加しても重篤度は変わらない。 B しきい値はない。
C 不妊は確定的影響である。 D 発がんは確定的影響ではない。

1 AとB 2 AとC 3 BとC 4 BとD 5 CとD

問26 預託実効線量に関する次の記述のうち、正しいものの組合せはどれか。

- A 臓器・組織が受ける吸収線量率を50年にわたって積算した線量である。
B 単位はSvである。
C 預託等価線量とその臓器又は組織の組織荷重係数との積の総和として求められる。
D 長期にわたる外部被ばくを評価するために用いられる。

1 AとB 2 AとC 3 AとD 4 BとC 5 BとD